

胃瘻カテーテル交換後の簡便な胃内挿入確認方法

— 飲用茶を利用し在宅でも行える確認法 —



ふきあげ内科胃腸科クリニック
(愛知県名古屋市)

院長 蟹江治郎



カテーテル誤挿入による腹膜炎の予防

カテーテル交換後は必ず先端の確認を行う!!!

	確認の確実性		医療機関での実施	
	時に困難	確 実	必 須	必須でない
送気音確認	●			●
胃内容物確認	●			●
色素液の利用		●		●
レントゲン利用		●	●	
内視鏡利用		●	●	

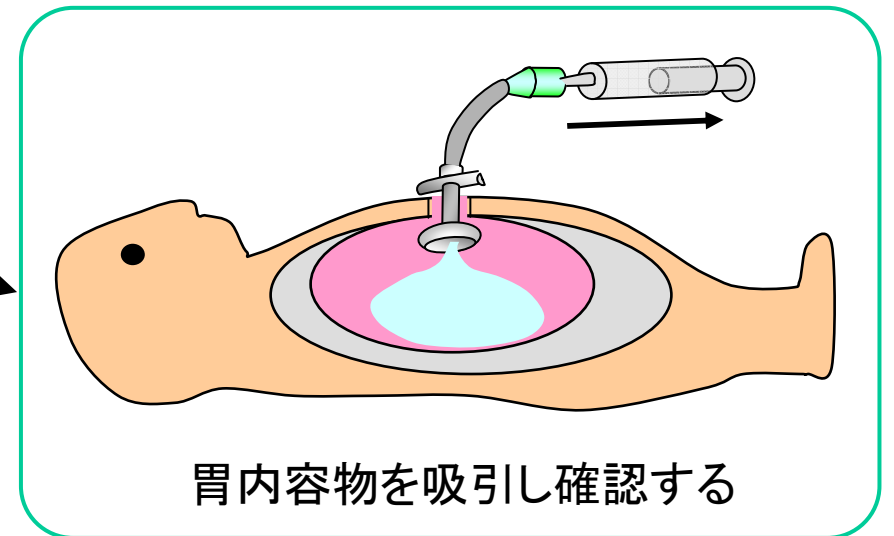
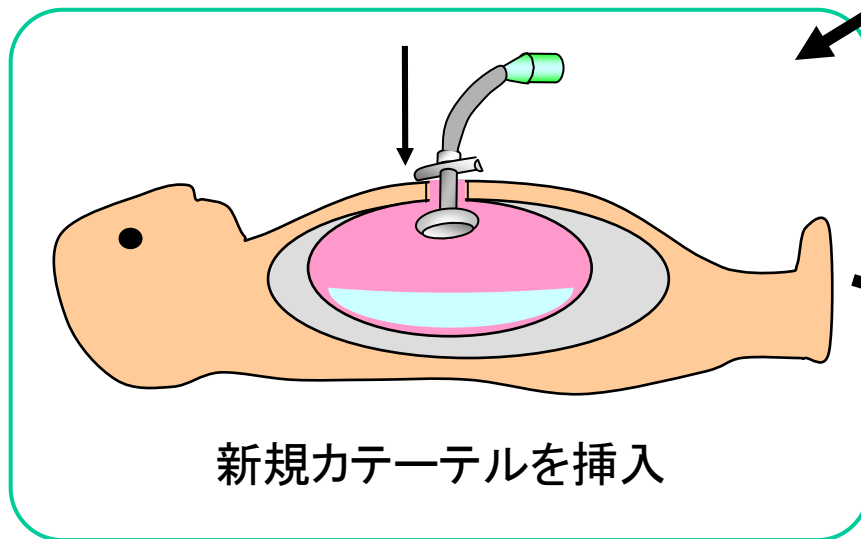
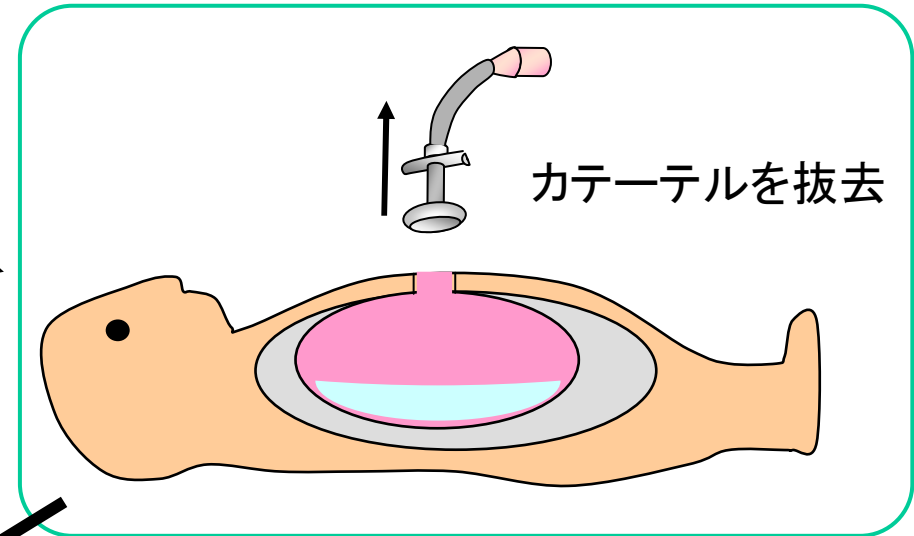
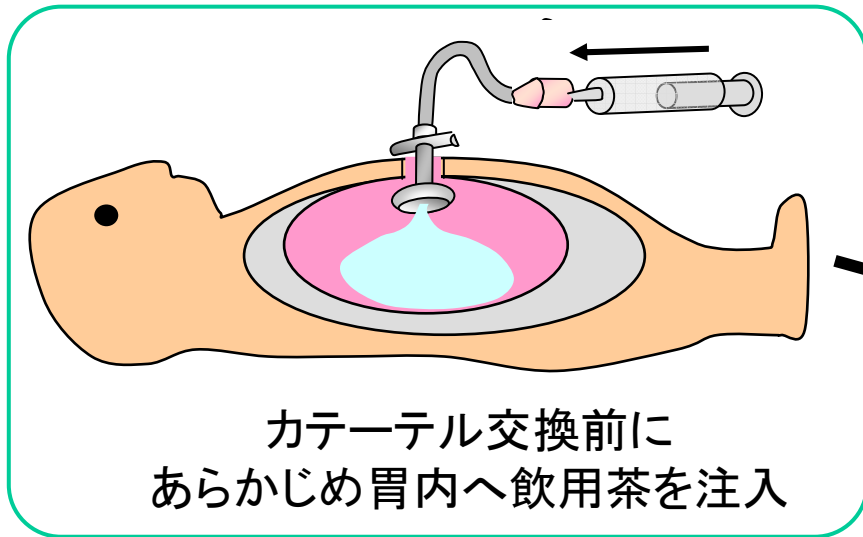
蟹江治郎 著:胃瘻PEGハンドブック. 医学書院, 東京. 2002, p60-63 より引用



目的

胃瘻カテーテル交換時に発生する、
腹腔内誤挿入の有無を確認するための、
飲用茶を利用し、在宅でも簡便に
実施可能な確認法の報告。

方法





確認用の液体として 飲用茶を選択する理由

- 生体内に無い色素の液体であること
- 安全な食品であること
- 家庭内で常に容易に入手が可能なこと
- 安価であること

方法①:準備





方法②: 飲用茶の吸引と注入





方法③:カテーテル交換



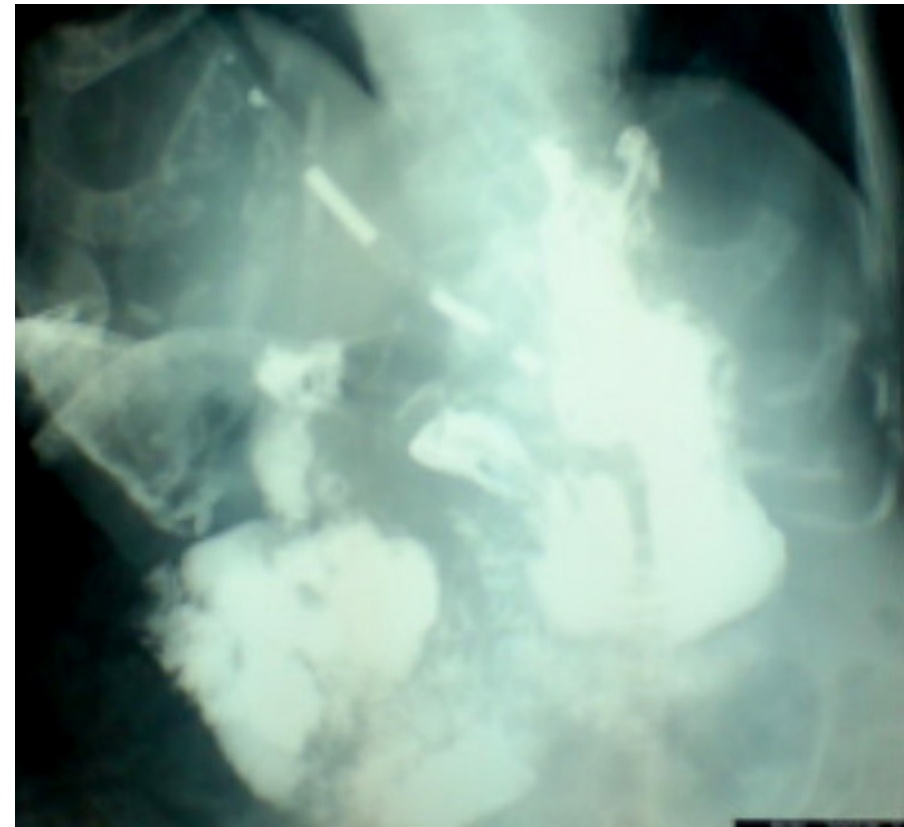


方法④：胃内容物の吸引確認





造影剤60ml注入後の胃瘻造影



胃内容物の吸引確認において、十分な量と考えられた。



結 果

対象症例に行った，飲用茶を利用した
確認法により，交換を行った全例において
確認が可能であった。

飲用茶は在宅でも容易に入手が可能で
あり，交換時に瘻孔から漏出しても着衣の
汚染は最小限に抑えられた。



結 論

今回行った、
飲用茶を利用した確認法を用いれば、
医療機関への受診を行うことなく、
簡便で確実な確認が可能であり、
開業医師による在宅胃瘻管理を行う上で、
有用な方法であるものと考える。